

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月13日
【四半期会計期間】	第80期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	不二硝子株式会社
【英訳名】	FUJI GLASS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 小 熊 信 一
【本店の所在の場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸 山 光 二
【最寄りの連絡場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸 山 光 二
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第79期 第2四半期 連結累計期間	第80期 第2四半期 連結累計期間	第79期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	1,279,576	1,337,959	2,560,586
経常利益(千円)	36,499	72,170	91,500
四半期(当期)純利益(千円)	22,193	42,523	45,655
四半期包括利益又は包括利益(千円)	29,730	28,168	76,820
純資産額(千円)	1,804,803	1,864,177	1,851,893
総資産額(千円)	3,228,065	3,160,240	3,237,319
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	10.48	20.08	21.56
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)			
自己資本比率(%)	54.4	57.3	55.7
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	107,675	124,238	209,358
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	41,941	32,610	92,903
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	58,934	64,809	127,384
現金及び現金同等物の四半期末(期末) 残高(千円)	415,671	424,760	397,942

回次	第79期 第2四半期 連結会計期間	第80期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	2.77	13.65

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当社グループの平成25年3月期第2四半期の売上高につきましては、関西方面で実施された夏場の電力抑制に伴い、一部の得意先において前年と同様に販売時期の変動がありました。堅調に受注が推移したことで前年を上回り、売上高13億3千7百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

利益面につきましても、売上高が増加した事や稼働率及び製造歩留りの向上やさらなる経費削減に取り組んだ結果、前年と比較して営業利益は6千4百万円（前年同期比97.2%増）、経常利益7千2百万円（同97.7%増）、四半期純利益4千2百万円（前年同期比91.6%増）とそれぞれ増加しました。

(2) 財政状態の分析

(総資産)

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して7千7百万円減少し31億6千万円となりました。主な要因は、現金及び預金が4千万円増加した一方で、商品及び製品が6千万円、未収入金が3千1百万円及び投資有価証券が2千4百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債総額につきましては、前連結会計年度末と比較して8千9百万円減少し12億9千6百万円となりました。主な要因は、社債が2千5百万円、長期借入金が2千3百万円及び未払法人税等が1千2百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産総額につきましては、前連結会計年度末と比較して1千2百万円増加し18億6千4百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が1千6百万円減少した一方で、利益剰余金が2千6百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2千6百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には4億2千4百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1億2千4百万円（前年同四半期は1億7百万円の資金増加）となりました。これは主に退職給付引当金の減少1千1百万円及び法人税等の支払3千5百万円があった一方で、税金等調整前四半期純利益の計上7千2百万円、減価償却費3千4百万円及びたな卸資産の減少による収入5千1百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3千2百万円（前年同四半期は4千1百万円の資金減少）となりました。これは主に定期預金の払い戻しによる1億2千2百万円の収入があった一方で、定期預金の預け入れによる支出1億2千8百万円と有形固定資産の取得による支出2千5百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6千4百万円（前年同四半期は5千8百万円の資金減少）となりました。これは主に新規の長期借入金による収入8千万円があった一方で、長期借入金の返済による支出1億3百万円、社債の償還による支出2千5百万円及び配当金の支払による支出1千5百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月13日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	2,142,000	2,142,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,142,000	2,142,000		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日		2,142,000		107,100		582

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数の割 合(%)
小熊 淳一	東京都文京区	1,025	47.88
小熊 信一	千葉県市川市	148	6.91
末松 國彦	福岡県行橋市	104	4.89
前田硝子株式会社	東京都品川区東大井1-6-1	86	4.02
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区内幸町1-1-5	75	3.52
石川 啓	栃木県鹿沼市	66	3.08
第一三共株式会社	東京都中央区日本橋本町3-5-1	62	2.89
中央商工株式会社	東京都中央区日本橋浜町2-44-4	28	1.32
東京東信用金庫	東京都墨田区東向島2-36-10	28	1.32
橋本 和夫	東京都中央区	22	1.05
計		1,647	76.92

(注) 1. 上記のほか、自己株式が24千株あります。

2. 所有株式数は千株未満切り捨て、所有株式数の割合は小数第2位未満を切り捨てて記載しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 24,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,113,000	21,130	
単元未満株式	普通株式 5,000		
発行済株式総数	2,142,000		
総株主の議決権		21,130	

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式が73株含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所 有株式数 (株)	他人名義所 有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
不二硝子株式会社	東京都墨田区文花二丁目15番9号	24,000		24,000	1.12
計		24,000		24,000	1.12

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	275,282	315,958
受取手形及び売掛金(純額)	2, 3 673,038	2, 3 680,045
有価証券	241,372	233,522
商品及び製品	404,639	344,198
仕掛品	4,910	2,735
原材料及び貯蔵品	39,595	50,836
未収入金	58,847	27,224
繰延税金資産	34,604	31,417
その他	1,218	974
流動資産合計	1,733,509	1,686,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	299,326	305,421
機械装置及び運搬具(純額)	153,083	147,113
土地	446,096	446,096
建設仮勘定	20,626	12,029
その他(純額)	7,470	9,786
有形固定資産合計	926,603	920,446
無形固定資産	2,013	1,876
投資その他の資産		
投資有価証券	484,270	460,269
その他	103,159	102,970
貸倒引当金	12,237	12,237
投資その他の資産合計	575,193	551,002
固定資産合計	1,503,810	1,473,325
資産合計	3,237,319	3,160,240

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	148,806	139,678
1年内返済予定の長期借入金	184,125	174,400
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未払法人税等	35,934	23,097
未払事業所税	7,275	3,627
賞与引当金	57,180	56,909
その他	113,647	112,133
流動負債合計	596,969	559,845
固定負債		
社債	100,000	75,000
長期借入金	191,600	177,400
繰延税金負債	86,578	80,165
退職給付引当金	143,107	131,579
役員退職慰労引当金	238,668	243,487
資産除去債務	28,503	28,584
固定負債合計	788,457	736,217
負債合計	1,385,426	1,296,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	1,470,065	1,496,704
自己株式	8,412	8,412
株主資本合計	1,569,335	1,595,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232,348	216,292
その他の包括利益累計額合計	232,348	216,292
少数株主持分	50,210	51,910
純資産合計	1,851,893	1,864,177
負債純資産合計	3,237,319	3,160,240

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,279,576	1,337,959
売上原価	1,036,151	1,058,868
売上総利益	243,425	279,090
販売費及び一般管理費	210,621	214,407
営業利益	32,804	64,683
営業外収益		
受取利息	215	219
受取配当金	8,032	7,526
受取賃貸料	2,834	3,737
その他	2,241	3,162
営業外収益合計	13,324	14,646
営業外費用		
支払利息	4,478	3,408
賃貸費用	4,379	3,101
その他	770	649
営業外費用合計	9,628	7,159
経常利益	36,499	72,170
税金等調整前四半期純利益	36,499	72,170
法人税、住民税及び事業税	15,054	22,280
法人税等調整額	1,753	5,665
法人税等合計	13,301	27,946
少数株主損益調整前四半期純利益	23,198	44,224
少数株主利益	1,005	1,700
四半期純利益	22,193	42,523

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	23,198	44,224
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	6,531	16,055
その他の包括利益合計	6,531	16,055
四半期包括利益	29,730	28,168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,724	26,468
少数株主に係る四半期包括利益	1,005	1,700

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	36,499	72,170
減価償却費	40,568	34,567
賞与引当金の増減額(は減少)	127	271
貸倒引当金の増減額(は減少)	101	34
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,292	4,819
退職給付引当金の増減額(は減少)	7,806	11,528
受取利息及び受取配当金	8,248	7,746
支払利息	4,478	3,408
売上債権の増減額(は増加)	43,265	7,040
たな卸資産の増減額(は増加)	44,712	51,375
仕入債務の増減額(は減少)	15,901	9,128
未収入金の増減額(は増加)	6,467	31,622
未払消費税等の増減額(は減少)	11,213	6,039
その他	1,592	1,196
小計	94,446	155,044
利息及び配当金の受取額	8,256	7,750
利息の支払額	4,530	3,439
法人税等の支払額	740	35,117
法人税等の還付額	10,242	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	107,675	124,238
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	114,712	128,722
定期預金の払戻による収入	107,699	122,714
有形固定資産の取得による支出	29,986	25,847
投資有価証券の取得による支出	905	945
その他	4,036	189
投資活動によるキャッシュ・フロー	41,941	32,610
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	80,000
長期借入金の返済による支出	108,050	103,925
社債の償還による支出	35,000	25,000
配当金の支払額	15,884	15,884
財務活動によるキャッシュ・フロー	58,934	64,809
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	6,799	26,818
現金及び現金同等物の期首残高	408,872	397,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	415,671	424,760

【会計方針の変更】

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	130,672千円	189,443千円

2 資産の額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形及び売掛金(純額)	863千円	897千円

3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	5,000千円	5,000千円
裏書譲渡手形	10,855	18,657

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
運賃及び荷造費	29,803千円	30,005千円
役員報酬	44,355	44,615
給料及び賞与	53,346	53,467
退職給付費用	5,080	5,389
役員退職慰労引当金繰入額	5,292	4,819
賞与引当金繰入額	10,848	11,475
減価償却費	4,453	4,385

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	268,163千円	315,958千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	111,711	124,719
有価証券勘定	259,219	233,522
現金及び現金同等物	415,671	424,760

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	15,884	7.50	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	15,884	7.50	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成24年9月30日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成24年9月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成24年9月30日)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	10円48銭	20円08銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	22,193	42,523
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	22,193	42,523
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,117	2,117

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月7日

不二硝子株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 奈尾 光 浩
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 伊集院 邦 光
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二硝子株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二硝子株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。